

タローの誕生

1981
作品ナンバー0195

文部省選定

妊婦が、主体的に健康管理をすることで、妊娠中の異状、特に妊娠後期に多い妊娠中毒症や貧血を防ぐことができる。映画は、胎児のタローを主人公としてわかりやすく、またみて楽しいアニメーションで描いている。



タローのママは、妊娠5ヵ月、タローが生まれてからも仕事を続ける頑張り屋のママだが、ある朝、階段で転びそうになってお腹のタローもびっくり。それからというもの、ママも反省してかかとの低い靴にかえ、タバコもお酒もガマンして頑張っていた。

ところが、しょっぱい物の好きなママの料理はどれも塩が濃すぎたようで、ママはお腹のタローの分もと頑張って食べていたのだが、8ヵ月の定期検診で、妊娠中毒症と診断される。

妊娠中毒症というのは、妊娠後期にあらわれ、現在も妊婦の10人に1人はかかる病気だ。子宮の血行が悪くなり、胎盤の動きが弱まって、胎児に発育障害が起こる。ひどい時には、早産や未熟児が生まれる原因になってしまう。塩分の摂り過ぎから妊娠中毒症になって以来、タローのママも安静と食事療法を心がけるようになった。

病院の待合室で友達になった洋子さんは、夫と2人で深夜営業のスーパーをやっていたが、貧血で倒れてしまった。以来、大嫌いだったレバーを食べたり、鉄のお鍋を使って調理したりして、少しでも鉄分を摂るように工夫しているという。

アニメーション
35ミリ
カラー／21分
日・英語版

- 企画
雪印乳業株式会社
- 監修
日赤医療センター院長
小林 隆

スタッフ

- 製作
村山英世
中田実紀雄
- 脚本
藤原智子
- 演出
白梅 進
- 撮影
V・A・C
- 音楽
越部信義
- 編集
古川雅士
- 進行
関 昭

■声の出演

- タロー： 山本嘉子
- ママ： 鈴木れい子
- パパ： 納谷六朗
- 医者： 千葉順二
- 友達： 谷 育子